

「美ら海とやんばるの風景海道パートナーシップ」

恩納北部めぐり編

58 快適さマップ

自転車の



見どころ

まんざもう

◆◆万座毛◆◆



象の鼻の岩や沖縄特有の植物、隆起サンゴの断崖から臨む東シナ海では、海中の景色と色彩が調和され、とても美しく雄大です。石灰植物群落として天然記念物指定され、『万人も座する草原』という意味を持ちます。



◆◆県民の森◆◆



多様でエネルギーな独自の自然環境を持つ「やんばる」の南端に位置し、いろいろな生き物が多く見られます。標高160mの熱田岳が馬の背状に東西に走り、その南端には溪流コースとなっている熱田川が流れています。

ばんこくしんりょうかん

◆◆万国津梁館◆◆



『世界の架け橋』をあらわし、首里城正殿の梵鐘に刻み込まれている銘文から名付けられました。14世紀頃、中国や東南アジアとの交易を通して人と文化の架け橋を目指してきた琉球の先人から受け継がれています。



マップ使用上の注意

このマップは、平成19年10月時点の道路状況をもとに作成しています。以後の道路整備により、現地と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

走りやすさ

SS
S
A
B
C
D

- ・自転車道や自転車レーンがあり最も安全に通行できます。
- ・坂がゆるく、おすすめスポットもあり快適に通行できます。
- ・自転車歩行者道があり安全に通行できます。
- ・坂がゆるく、おすすめスポットもあり快適に通行できます。
- ・自転車道や自転車歩行者道があり安全に通行できます。
- ・一部に路面の状態が悪いところがありますが、坂がゆるく快適に通行できます。
- ・自動車や歩行者など他の交通に注意することで安全に通行できます。
- ・一部に急な坂の区間や路面の状態が悪い区間があります。
- ・自動車や歩行者など他の交通に十分な注意が必要です。
- ・急な坂の区間や路面の状態が悪い区間があります。
- ・幅の狭い路側帯や手押しをとまなう坂があり、通行には特別な注意が必要です。

マップの見方

左側通行を前提に表示しています。

進行方向→ 快適さ「S」評価
道路
←進行方向 快適さ「A」評価

凡例

- 岬
- 役所
- 道の駅
- ビーチ
- 集会所・会議場等
- ⊗ 学校
- 〒 神社
- 〒 郵便局
- ⊗ 警察署
- 🏨 ホテル
- 🚻 トイレ
- その他施設
- 🏪 コンビニ
- ★ 休憩施設ほか
- 🚗 駐車場

歌碑等

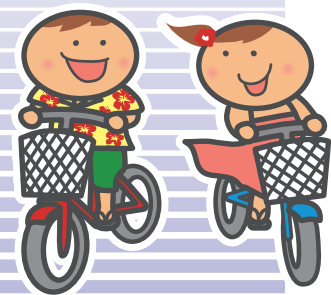
- ① 恩納松下の歌碑
- ② 恩納ナビーの歌碑
- ③ 巖谷小波の句碑
- ④ 愛馬進軍歌碑
- ⑤ 仲間の歌碑

文化財

- ① 恩納岳
- ② 森城嶽、藍壺
- ③ ボージガマ
- ④ 熱田貝塚、熱田御嶽
- ⑤ 御待毛
- ⑥ マナツジ嶽
- ⑦ 伊武部貝塚
- ⑧ ヤウの御嶽
- ⑨ カンジャガー
- ⑩ 神アシアゲ
- ⑪ 兼久の殿
- ⑫ 志喜根貝塚
- ⑬ 恩納グスク、浜崎御嶽
- ⑭ 万座毛
- ⑮ ウドゥイガマ

指定文化財一覧表

区分	種別	名称	指定年月日
県指定	名勝	⑭ 万座毛	昭和47年 5月12日
		⑭ 万座毛石灰岩植物群落	昭和47年 5月12日
村指定	民俗・有形	⑬ 浜崎御嶽	平成 3年12月 5日
		⑨ カンジャガー	平成 3年12月 5日
		⑮ ウドゥイガマ	平成 3年12月 5日



「美ら海とやんばるの風景海道パートナーシップ」

58 快適さマップシリーズ 恩納北部めぐり 編

恩納村の歴史に情熱を傾ける人々『恩納村文化財案内人道の会』



交通史の分野で、沖縄初の国指定史跡となった^{くに}国頭方西海道と、文化を今に伝える琉歌の里を中心に、トレッキング、ウォーキング、史跡・琉歌巡りといった活動をしています。

文化財にご興味のある方は、ぜひ恩納村博物館にご連絡下さい。文化財や地域の情報など、情熱と個性豊かなメンバーがご案内いたします。皆様のお越しをお待ちしています。

歴史に残る恩納村の人々

● 護佐丸



護佐丸は15世紀の初め頃、中山王尚巴志とともに琉球統一をなしとげました。

護佐丸は城作りの名人で、山田城をはじめ、座喜味城、中城城を築き、さらに首里城の大改築も護佐丸によってなされたと伝えられています。

恩納ナビーは、18世紀の初め頃、琉歌の歌人として活躍した人です。

恩納岳、万座毛、恩納松並木など、ナビーの周辺には歌の題材になる風物がたくさんあり、恵まれた環境の中でナビーはたくさんの歌を作りました。

その中でも、「恩納岳あがた 里が生まれ島 森んうし除きてい くがたなさな」と、「波ぬ声ん止まり 風ぬ声ん止まり 首里天がなし 美御機拝がま」という二つの歌は傑作といわれています。



歴史の道・国頭方西海道

琉歌とは、叙情短詩形の「謳う歌」であり、シマの言葉で計30音（和歌のように文字数ではない）で構成される。一般的に琉歌といわれているのは短歌の8・8・8・6のことで、通称・386（さんぱちろく）ともいわれています。



恩納ナビーの歌碑

「波の声もとまれ風の声もとまれ首里天がなしみおんき拝ま」歌意は、「波も風も穏やかになってほしい。はるばる国王が万座毛に立ち寄られるのだから、そのお顔を拝みたいものだ。」現在の歌碑は、昭和3年の建立後、50周年を祈念して昭和54年に建立されました。



恩納松下の歌碑

「恩納松下に禁止の碑の立ちゆす恋忍までの禁止やないさめ」歌意は、「恩納番所（役所）」の前の松の下にシヌグを禁止する札が立てられているが、恋忍までは禁止してはいたろう。」歌碑は昭和39年に建立されました。



巖谷小波の句碑

「しぐれけりおんな詩人の 碑を訪へば」
童話作家の巖谷小波が、琉歌で知られた恩納ナビーの歌碑を訪れた昭和7年秋（碑には昭和6年とあります）に詠んだ句を御世に残そうと、昭和58年に碑が建立されました。



愛馬進軍歌碑

第二次世界大戦中、陸軍省は全国の農家から集められた軍用馬を大切にするため「愛馬進軍歌」を募集しました。3千余の応募作品から見事1等の栄誉を勝ち取ったのが、恩納村字名嘉真出身の新城正一でした。その業績を称えるため、昭和55年5月16日に碑が建立されました。



谷茶前節の碑

1848年（尚泰元年）頃、首里王府の役人が国頭巡視をしたおり、その歓待のために、谷茶の若者達が即興で漁獵の様子を演じて好評を博したと言われています。現在踊られている谷茶前の踊りは、明治19年頃に琉球古典舞踊の名手である玉城朝重によって振り付けられました。



仲間の歌碑

「仲間からかいとて久志辺野古までも金武の御前がなしおかけ親島」
歌意は、「仲間から久志辺野古にかけて金武の御前がなしのご領地で、まことに広大なものだ」 仲間節は、名嘉真区域に先人が残した雄大で豊かな文化を継承すべく2008年に建立されました。



美ら海とやんばるの風景海道パートナーシップ

恩納村博物館 沖縄県恩納村字仲泊1656-8 TEL : 098 (982) 5112